

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年4月12日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	山崎 聡
研究課題	I tell you などの強調の効果をもつ明示的遂行文の変化				
研究キーワード	断言型明示的遂行文	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>明示的な断言型遂行文（以下、遂行文）I tell you、I assure you、I promise you、I swear（等）とそのヘッジ遂行文の近代英語期から現代英語にかけての変化の様子を調査した。4つの遂行文はホスト文の命題内容を強調するという機能を共有しながらも、個々の遂行文によりその通時的な頻度変化やヘッジなどその変異形の（通時的）分布には差異があることが判明した。また、その説明を試みた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>「I tell you などの強調の効果をもつ明示的遂行文の変化を追う」、2022年8月20日 近代英語協会第39回大会、シンポジウム「コーパスデータによる言語現象の掘り起こし」 （なお、当該の内容を基に論文を執筆した（6月刊行予定））</p> <p>3. 主な経費</p> <p>書籍、論文等の購入に充てた。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p style="text-align: right;">（本文は2ページ以内にまとめること）</p>					